



勝利の秘策は(12/5)

中央体育館（大通東5）において「第9回中央区インドア雪合戦大会」が開催され、16チーム・125人が熱戦を繰り広げました。

選手らは、前線に出て球を投げたり仲間に球を供給したりと、練習で培ったチームワークを発揮。

また観客席では、家族や友人が、手作りの横断幕を掲げ、選手に大きな声援を送っていました。



▲投げて、隠れて、また投げて。チームワークで波状攻撃

光の中で弾む息(12/10)

中央区主催の「イルミネーションウォーキング」が開催され、約120人の参加者が小雪のちらつく大通公園をウォーキングしました。

参加者は、入念な準備体操で体を温めた後、中央保健センター（南3西11）からさっぽろテレビ塔（大通西1）までの約2キロを、イルミネーションを見ながら軽やかに歩きました。

▶ 今年はこんなすてきな光の川が



◀ 鮮やかな光に寒さも忘れず



もちつきで防火の願い(12/7)

札幌大谷幼稚園（南7西7）において「防火もちつき」が行われ、園児とその保護者、消防士など約250人が防火の願いを込めてもちつきを行いました。

園児はねじり鉢巻きに法被姿で一生懸命きねを振り下ろし、つきあがったもちは、さっそく雑煮としてお昼に出され、自分たちでついたもちをおいしそうにほお張っていました。



▲ よくくのおもちだね



▲ もちつきベッタン！たのしいな♪



▲ 紙のプールだ、ワイ！

▼ ワハハハハ



みんなで遊ぼう！（11/24）

あけぼの^{アンド}アート&コミュニティセンター（南11西9）において「地域連携事業ほのぼのフェスタ」が開催され、近隣の親子連れなどでにぎわいました。

会場は、紙のプールやおもちゃなど、たくさんの遊びのコーナーや冬に向けての遊びの紹介があり、参加者は、学生や地域住民によるボランティアと一緒に、楽しいひとときを過ごしました。